

上越地区研究集会

1 地区研究集会の概要

- (1) 期 日 平成25年 9月13日(金)
(2) 会 場 糸魚川市 青海総合文化会館「きらら青海」
青海生涯学習センター
糸魚川市役所青海事務所

(3) 日 程

12:00	12:50	13:20	13:30	14:10	14:30	16:30
司会者 記録者 打合せ	受付	移動	開 会 式	休憩 移動	部	会

2 大会開催に向けて

本研究集会は、平成25年度からスタートした全国連合小学校長会の研究主題「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す 小学校教育の推進」を受けた地区別研究集会である。このことを踏まえ、糸魚川市小学校長会では、新主題を受けた初年度である大会として意義あるものとする事及び大会主題を十分吟味し、その実現に向けた展望を拓く研究集会を目指した。

そのため、糸魚川大会では、大会の成否を握る部会運営の充実に意を配り、司会者と世話役とが連絡、連携を密にとりながら情報共有を図るとともに、部会運営の方向等を話し合いながら準備を進めてきた。

また、各部会の協議が深まるよう世話役が各レポートを読み深めながら部会資料を作成し、司会者へ提供するとともにその支援と協力を重視した運営に努めた。

3 研究集会の概要

(1) 開会式

来賓として上越教育事務所長小林晃彦様、糸魚川市副市長織田義夫様、糸魚川市教育委員会教育長竹田正光様、新潟県中学校長会常任理事大西純様をお迎えした。

はじめに加藤誠雄県小学校長会長は、「全国学力学習状況調査で小学校6年生が大幅に向上した。今後は、考える力の育成を小中学校の課題として一層連携が望まれる。校長の明確なビジョン

と、それを推進する力強いエネルギーが、学校を改革させる。」と力強く挨拶された。

続いて、鶴本修一実行委員長は、「協議内容を来年度の研究集会新潟大会、そして、関プロ新潟大会へホップ、ステップ、ジャンプとつなげよう。」と大会の趣旨を加えて挨拶をした。

来賓を代表して小林晃彦上越教育事務所長様からは、全校体制で取り組む授業改善についてお話しいただき、「県の教育課題に正対して取り組んでいる校長の姿勢が、課題解決の原動力になっている」との祝辞をいただいた。

開催地の糸魚川市副市長織田義夫様からは、「特色ある取組を紹介し合い、未来を担う子どもたちの生きる力を育む学校運営のさらなる進展を願っています」との激励の言葉をいただいた。

(2) 部会協議

開会式終了後、オリエンテーションで歌川孝研修部長が、新しい研究主題の趣旨と、平成27年度開催予定の関プロ新潟大会を目標にした研究推進について説明した。その後、3会場、10の部会に分かれて研究協議を行った。

本大会は、大会主題に迫るために、会員が事前にレポートを読み、課題意識をもって臨むために、レポートを冊子にまとめて事前配布した。また、世話人が予めレポートの要約を資料として作成、提供し、部会の協議充実に向けて役立ててもらった。

当日の部会では、会員の積極的な発言により、会員同士が特色ある取組に学び合う、活発で深まりのある協議会となった。